

学校給食費の公会計化の状況について

1. 令和2年第2回定例会の総務文教常任委員会報告時のスケジュール案
令和3年度・・・学校給食費の管理に関する条例制定
徴収システムの構築など
令和4年度・・・公会計の導入予定

2. 現状について

政策予算要求で徴収システムの導入費用やランニングコストが高額であったため、他の徴収システムとの比較やコスト削減の可能性を検討しており導入が遅れている。

3. 経費比較

	システム導入経費	ランニングコスト
当初概算費用	15,000,000 円	3,700,000 円
政策予算要求費用(R4)	28,009,000 円	12,278,000 円

4. 要 因

- ①徴収システムの導入及び運用の経費について、市内での合意に至らなかった。
- ②給食センターの建て替えに関連して、道内の他市町村でスクールランチによる外部委託を実施する動きが見られ、スクールランチでは費用の徴収も外部委託事業者が行うため、スクールランチの調査研究を行っている。
以上により公会計化を先行して導入できない状況である。

5. 今後の方向性

学校給食費の公会計化に向けては、本市の基幹システムと連動させるため新たな徴収システム構築が必要であり、その構築費用の財源が大きな課題。

さらに、数年後に予定している給食センターの建て替えや近年のスクールランチの他市町村の動向にも注視する必要がある、給食センターの建て替え全体の課題を踏まえて慎重に進める。